

「愛媛34号」の特性について

果樹試験場では、本県の気候風土に適し、消費者ニーズに即した優良なカンキツ新品種の育成を目指し交雑育種に取り組んでいる。

今回、二次選抜系統の中から高糖度で無核、剥皮性に優れた晩生カンキツ「愛媛34号」を、種苗法に基づく新品種として登録申請することとした(登録品種名については現在検討中である)。

「愛媛34号」は、平成3年に「西之香」に「不知火」を交配して育成したもので、平成13年3月に一次選抜したものである。

樹勢は中程度で、樹姿は結果期になると直立と開張の中間となる。若木や高接ぎ当初にはトゲが発生するが、結実し始めると徐々になくなる。

果実は約250gと大果で、果形は扁平で乱れや



写真1 愛媛34号の結実状況

すい。果皮は濃橙色で薄く、果面はやや滑らかである。剥皮性は極めて良く、じょうのう膜も早生みかんのように軟らかい。

成熟期は1月中旬～2月中旬で、糖度は13度、クエン酸は1%程度。しゃきっとした食感に特徴がある。

1月下旬から2月に販売する晩生カンキツであり、消費が低迷している伊予柑の更新先品種として期待される。

なお、夏秋期に裂果が発生しやすいため、対策試験に取り組むとともに、栽培特性等のデータ蓄積のため、県内各産地で栽培適応性試験を開始している。

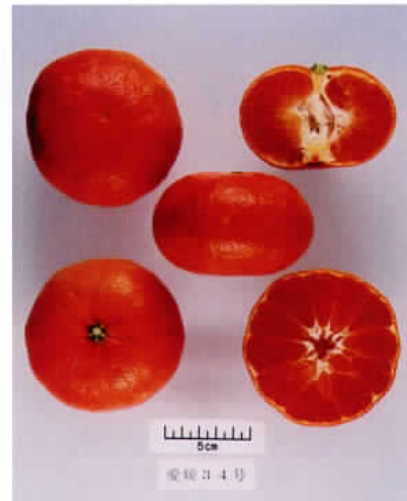


写真2 愛媛34号の果実

(育種班 主任研究員 中田治人)

表1 愛媛34号の果実品質

分析日	品種名	1果重 (g)	果形指数 (g/100ml)	糖度	クエン酸	糖酸比
H15/ 1/20	愛媛34号	223	140	17.1	1.31	13.1
	西之香	190	123	13.1	1.03	12.7
H16/ 1/20	愛媛34号	280	150	14.6	1.05	13.9
	西之香	173	117	13.6	1.06	12.8
	不知火	250	111	14.9	1.24	12.0
H17/ 1/20	愛媛34号	221	133	14.1	1.21	11.7
	西之香	206	101	11.3	0.85	13.3
	不知火	248	113	15.4	1.33	11.6

編集発行

愛媛県立果樹試験場

〒791-0112 松山市下伊台町1618 TEL089-977-2100 FAX089-977-2451